

ま：マシユ!  
あのさ：今から  
ちよつと  
部屋来ないか?

俺とマシユは明確に交際を  
交わしている訳ではないが  
旅の中で絆を深め……  
今では男女の仲である

最近はなかなか時間が取れず  
忙しい彼女に久しぶりの  
夜の誘いをしているところだ

先輩……

……はい!  
今日であれば  
大丈夫ですよ

よっし……!!  
一か月ぶりだ……!!  
♥



ああ…  
最高…  
幸せ…  
♡♡

気持ちいい  
ですか？先輩♡

うんっ♡  
やばい…♡

あああ…♡  
マシユ…  
大好きだ…っ♡

私も…  
大好きです♡  
先輩♡

たんっ♡

たんっ♡

たんっ♡

たんっ♡



マシユも  
気持ちいい？

はい♡  
もちろんです♡

でも俺…  
ちんこ  
小っちゃいし…

ふふ…先輩…♡  
そんなことを  
気にされて  
いるんですか？♡

こういうことは  
好きな人と  
するのが…♡  
一番なんですよ♡

マシユ…優しい…♡  
本当に優しい…♡

アイツらと違って…  
マシユだけは  
最後まで  
俺のそばに  
いてくれている…

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

だから……まだ  
信じられない……

マシユ……  
ちよつとこれを見てもらつていい……？

……え？

……あ……  
はい……

こんな優しい  
マシユが……  
俺のことが  
大好きなマシユが

他の男とも  
セックスしている  
なんて……！！



これはメイヴと  
ダヴィンチが  
作つたいわゆる  
『催眠アプリ』  
というものだ

ただし俺が  
悪用しないよう  
なんでも命令  
することのできる  
それとは違い  
機能はかなり控えめに  
なっている

ポ——…

強い強制力は  
もつておらず

『嘘をつかなくなり  
思つたことを正直に話す』  
『お願いすれば』

本人が嫌でない限り  
比較的素直に聞いてくれる』

くらいのもらしい

催眠中の出来事は  
すべて記憶から  
消されるため

メイヴはこれを  
俺に使わせて  
『優しいマシユの本音を  
直接聞きなさい』  
というこらしい

くそう…  
あの…ドS女め…

でも…気になる…!

たんっ♡

たんっ♡

たんっ♡

たんっ♡

催眠



マシユ  
俺のこと好きか？

…はい  
そうですね

先輩のこと  
たぶん好き…  
だと思えます

…催眠をかけて  
聞いているので  
これは本当のことだ

マ…マシユ…

本当に…  
俺とのセックスは  
気持ちいいか…？

…いえ全然  
気持ちよく  
ないです

先ほどは  
先輩を気遣って  
嘘をつきました

………ツ…!!

だから…これも  
真正正銘  
マシユの本心…ツ…

ドキ…  
ドキ…

たんっ♡

たんっ♡

たんっ♡

たんっ♡

催眠



じゃ：じゃあ  
なんで俺と  
シてくれるんだ？

それは…  
先輩のこと…  
まだ…  
好きですし…

まだ…？  
さつきも思っただけど  
好きって言い方が  
曖昧なような…？

なにより  
先輩が親しかった  
お気に入りヴァン  
女性サーヴァント  
みんな他の男性に  
取られてしまった

毎晩自慰行為に  
ふけている姿が  
とっても  
かわいそう  
だったので…

な…なんだよ  
それ…お情けで  
抜いてくれる  
ってことか…？

お情け…はい  
そうかも  
しれませんね

く…くそお…  
そ…そんなんで  
マシユは…  
満足できるのか？

あ…大丈夫です  
私のことを満足  
させてくれる方は  
別にいるので

…メイヴが  
マシユに紹介  
したって男か…！



そいつと  
直近でシたのは  
いつだ...?

えっと...  
今から18時間前に  
一度抱かれました

それから...  
昨日はお休みで  
...一昨日は  
朝からずっと  
していましたね

うう...  
俺は一月ぶりの  
セックス  
だっというのに...っ!

最近知り合った  
ばかりの男が  
そんな頻度で  
俺のマッシュを  
使いやがって...!

...そんなに  
そいつの  
セックスは  
いいのか...?

はい...♡

即答...!

...先輩と  
違って気を  
使わなくて  
いいですし

き...気をつかうって  
どういうことだよ...?  
そんなこと  
しなくていいよ...!

そうですか?

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

俺



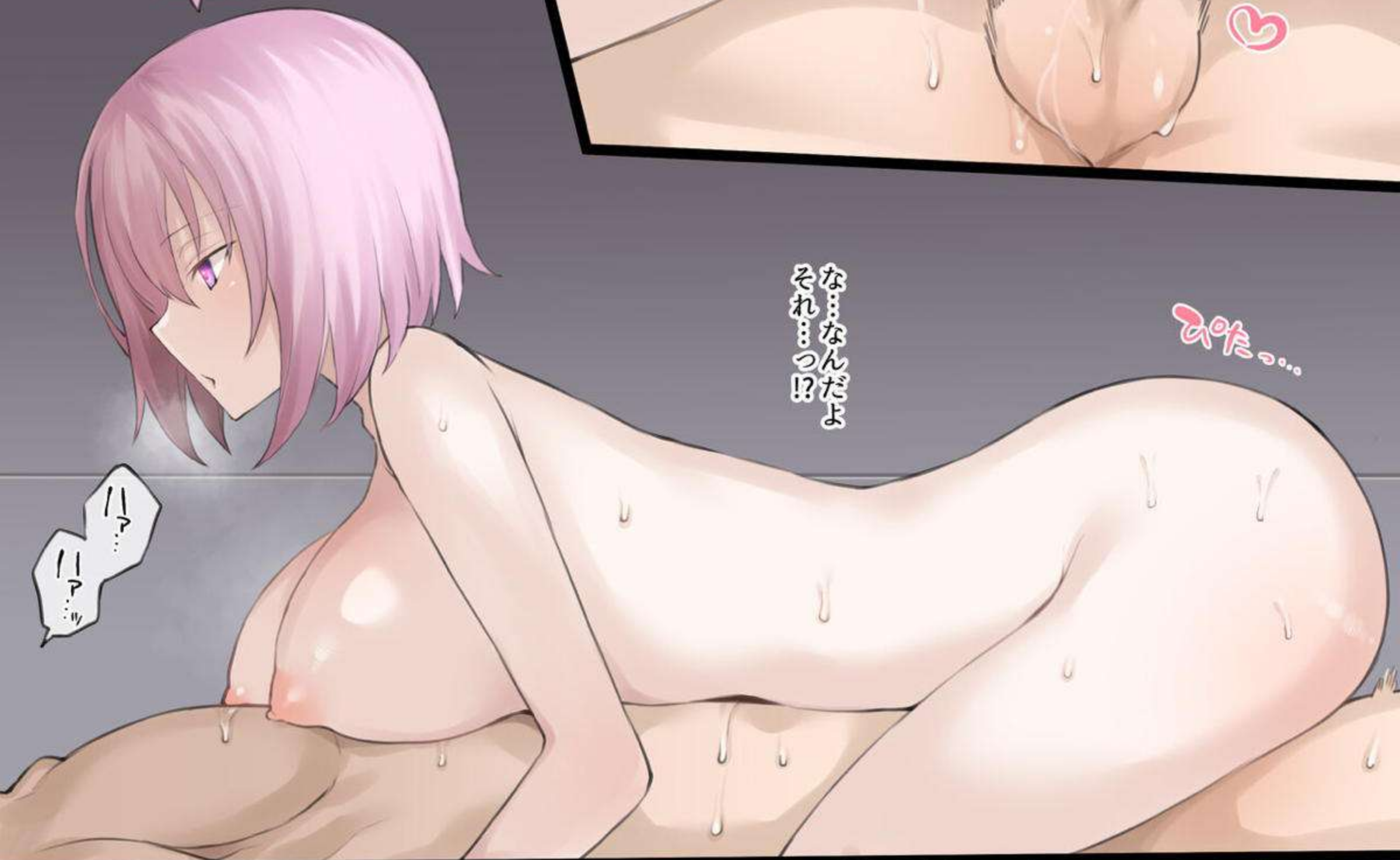


先輩のおちんちんは刺激にとても弱いようですので……

少しでも長くセックスを楽しめるよう

これまではすぐにイかないようにうまく加減して動いていたのですが……

……本当に彼とする時のように本気で射精を促すセックスをしてくれるんですか？



な……なんだよそれ……!!

ひた……

ハ？  
ハ……ッ



あ……ああ……アイツとする時と同じように……たのむ……!

……  
分かりました

ですが先輩の身体がびっくりしないよう……最初は弱く……徐々に上げていきますね

くそ……完全に舐められてる

バカに  
しやが……っ！

最初は  
これくらいで  
いかがでしょう？

はぁん♡

少し強い  
ですか？

はぁん♡

え？  
えっ…え…？

あ…  
ヤバい……ッ

気持ち  
よすぎて…  
チンポ  
死ぬっ…ッ ♡

ははは…  
そっかあ…

これ…  
ダメだ

たん♡  
たん♡  
たん♡

たん♡  
たん♡

…これが  
…本来の  
マシユとの  
セックス…ッ ♡

はぁん♡

はぁん♡

はぁん♡

はぁん♡

はぁん♡



俺が…今まで  
マシユとしてた  
ことつていったい…

…あ  
そうだ…  
思い出しました

『どうして  
先輩なんかと  
セックスして  
あげるのか』  
…について  
ですが

実は  
もうひとつ…  
とっても  
大事な意味が  
あるんです

こうやって  
先輩の小さい  
おちんちんを  
身体になじませて  
私の膣をいちど  
短小仕様にし  
てしまうんです

女性器には  
形状記憶  
の機能が  
備わって  
います…

♡ キュウウウ…♡

ぬきま  
ぬきま  
ぬきま



そのあとで…

どんなに  
経験豊富な女性でも  
狂ったように  
イカせてしまう…

彼のイチモツを  
挿入するんです…♡

どうなるか  
分かりますか？

想像してみ  
てください

♡

ああ……♡

先輩がへこへこ頑張って私の身体に刻んだ短小のカタチなんか

お……♡  
お……♡

一瞬でこじあけられちやいますね……♡



べろチューしながら少し時間をおけば……♡

もう先輩のカタチは上書き削除♡

ぶつといかり高の亀頭がグリグリ……♡と膣壁を押しつけて

お……♡  
お……♡

そして『今からここに精液を注入します♡』と予告されるように

一番奥の気持ちいとところに尿道口をぴったりくっつけられて♡

先輩には触ることのできなかつた

お……♡  
お……♡

私の膣は少しずつ彼のカタチを記憶していきます

お……♡  
お……♡

そのまま……♡

奥の奥までずぶ……ずぶ……♡と侵入してきます

こんなことをしたら……前の交尾よりこっちの方が

好き……だと

そして気持ちいいおまんこ開始……♡

本能的に判断してしまえますよね……♡

『前回のしよばいオスではダメ』

『こっちのオスを  
選びなさい♥』  
『こっちの精液で  
孕みなさい♥』と

彼を愛するよう脳が  
興奮物質を大量に  
分泌してくるんです♥

分かりますか？

先輩の短小  
おちんちんを間に  
かませることで

私はより気持ち良い  
セックスをあの人と  
楽しんでいるんですよ♥

先輩のコレ  
みたいになさい

排尿と自慰にしか  
使い道がなさそうな  
クズ……

あ……すみません  
クズは言い過ぎました  
先輩にとっては  
大事なものですよね

……こんなものでも  
私たちのセックスの  
役に少しは立つ  
ものなんです

自信を  
持ってください

マシユ……うっ  
イクツ♥  
も……無理……  
出るうツ……♥

……もう射精  
してしまうん  
ですか

はあ……やっぱり  
女性向けとしては  
使いものにな  
りませんね

前言撤回です  
クズチンポで  
ごめんなさいと  
頭の中で謝罪  
しながら射精  
してください

う…嘘だ…っ  
マシユが俺に向かって

クズチンポ  
だなんて…っ

でも…もう…っ…我慢できない…

イク…っ

ぬほおっ

…やめます

!?

やはり…微塵も  
気持ちよくなつてない  
状態で中出しされるのは  
不快極まりないですね

先輩は外へ  
お願いします

どうせ独りよがり  
で自慰行為みたい  
なセックスだったし  
かまわないですよ  
ね?

フィニッシュは  
まあ…少し強めに  
おしりで叩いて  
あげますので

それで全部  
出してしまっ  
てください

マシユ…  
まって…  
中に出したい…っ

ダメ  
です

イクっ

イクっ

はい  
おわり  
ですね

マ……マシユ……  
ありがとうね……  
おつかれさま……

き……今日は  
気持ちよかった……？

あれ……  
途中で寝てしまった  
からでしょうか？

ほとんど  
覚えてない……

はい……♡

とつても  
満たされました  
今夜はよく  
眠れそうです

では先輩  
おやすみなさい♡

……っ



はあ……

先輩のおちんちん  
今日も全然  
気持ちよくなかった  
ですよ……？

同じように小さいひとでも……  
これからはもっと  
かわいい男の子なんかと  
したほうがいいのかもしれない  
ですね……♥

それであれば  
先輩はもう……

まあ……いちど  
メイヴさんに  
相談して  
みましょうか

それにしても……  
なんだか……中途半端に  
身体を使われたので  
もやもやします

彼のところに  
行けば……今夜も  
抱いていただけ  
でしようか……？♥

















